

プレスリリース [令和4年3月16日]

(計 2枚)

歴史都市「城下町大聖寺」の再整備の手始めとして 「松島橋」が新しいデザインに架替わりました。完成を祝い、開通式が開催されます。

令和3年度、金沢に次ぐ石川県内では2例目の歴史都市として国から認定された加賀市は、「城下町大聖寺」を重点区域に位置づけ、江沼神社庭園（旧大聖寺藩邸庭園）や錦城山公園の整備事業をはじめ、歴史資産を生かしたまちづくりと観光誘客の強化を図ってまいります。その手始めとして、「松島橋」が新しいデザインに架替わりました。

松島橋は、大聖寺城跡（錦城山）や大聖寺藩ゆかりの江沼神社、藩主の休息所に利用された国重要文化財である長流亭等、自然と文化に恵まれた場所に位置する旧大聖寺川に架かる橋です。平成28年、既存松島橋の道幅が狭く車と歩行者が交差し難いことや、架橋から64年が経過したことによる劣化が著しいこと等、長年の課題解決に向け、社会資本整備総合交付金を活用し架替事業に着手いたしました。

整備にあたり、金沢美術工芸大学の坂本教授を議長に迎えたデザイン検討会を設け、大聖寺地区で藩政期の町並み保存や歴史研究に取り組む地域の方々と検討を重ねることにより、重要文化財「長流亭」の景観にふさわしい松島橋のデザインを仕上げました。具体的には、水中に橋脚を設けず、橋桁の高さを抑えたスレンダーな構造美としたほか、欄干には城下町大聖寺の景観特性である「赤瓦」の色を取り入れ、周辺景観との調和を図るとともに長流亭の書院窓を表現いたしました。また、歩道部の欄干には夜間の風景にも配慮した安全施設となる足元灯を整備いたしました。

本事業の完成により、通勤通学など地域住民の生活に欠かせない道路として利用されるほか、「城下町大聖寺」整備事業との相乗効果により、大聖寺地区の地域振興および加賀温泉郷への誘客に大きな役割を果たすものと期待されています。

つきましては、県内有数の桜の名所である旧大聖寺川沿いの桜風景を背景に松島橋完成を祝い、大聖寺地区まちづくり推進協議会主催の開通式が開催されます。

式典：松島橋 開通式

日時：令和4年3月26日（土）午前10時30分～（1時間程度）

場所：松島橋 加賀市大聖寺八間道地内（旧大聖寺川左岸側）

主催：大聖寺地区まちづくり推進協議会

※加賀市長が出席します。

当日、記念アトラクションとして錦城能楽会の謡曲、

渡り初めとして、地元町内会による獅子舞を予定しております。

本件へのお問合せ先
加賀市建設部土木課 担当：中田 TEL 0761-72-7930



(新) 松島橋

※R4. 3. 1 現在の写真です。

本件へのお問合せ先
加賀市建設部土木課 担当：中田 TEL 0761-72-7930